

福山市立大学 地域と大学 第1回

『びんご経済レポート』読者のみなさん、こんにちは。福山市立大学の地域連携コーディネータの安藤です。備後地方で60年以上もの歴史を誇る『びんご経済レポート』でこのたび、福山市立大学が地域で推し進めている活動について語るコラムを連載させていただくことになりました。

突然ですが、みなさんは福山市立大学がどんな大学かご存知でしょうか。今回は記念すべき連載第1回ということで、大学の基本情報を紹介したいと思います。ちなみに本学には「FCU」や「福市（ふくいち）」の愛称があるので、ぜひ親しみを込めて呼んでみてくださいね。

福山市立大学は、2011年4月に開学した4年制の公立大学で、教育学部、都市経営学部の2学部を設置しています。メインキャンパスがあるのは福山市港町。瀬戸内海につながる内港やみなと公園に隣接しながら地元企業や商業施設、文化施設などに囲まれた、“地域に開かれたキャンパス”です。

教育の側面では、地域に根ざした科目や、地域との接点となるような機会を数多く用意しています。

たとえば教育学部では、市内の教育機関の協力のもと課外活動として



2022年の大学祭で行われた「アイデアピッチ」の様子。学生がビジネスプランを考え、発表しました。



「実地体験活動」を展開し、保育・教職現場の実際を体験します。都市経営学部では、街に繰り出して地域課題の発見・分析・解決への模索を学生自身が行います。ほかに、ゼミや学生有志団体などが街中でさまざまな活動を行っているんです。

FCUでは地元企業や団体、教育機関とのつながりを模索し、マッチング



2023年8月8日、福山通運株式会社と連携協力に関する包括協定を締結しました。

の糸口を探っています。中でも私たち連携担当は、街中で活躍する教員や学生×地域のニーズの窓口となり、備後圏域で

幅広く深い関係性を築いていきたいと考えています。

福山市立大学のホームページでは研究シーズ集を公開しています。各教員の研究内容がわかる資料となっているので、この機会にぜひご覧ください！

ここで、明日誰かに話したくなるFCU豆知識をひとつ。福山市立大学の大学歌「Road To The Future」は、福山市出身のミュージシャン・世良公則さんの作曲で、世良さんは作詞のアレンジにも参加されました。入学式や学位記授与式などの行事で歌い継がれていますよ。ではまた次回♪



FUKUYAMA CITY UNIVERSITY
福山市立大学

教育学部、都市経営学部の2学部で構成される公立の4年制大学。自治体や地域社会、地元企業との連携を深め、持続可能なまちづくりに寄与する人材の育成をめざしている。

【問い合わせ先】
福山市立大学 事務局総務課 連携担当
☎ 084-999-1112 ✉ soumu@fcu.ac.jp



研究シーズ集